様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 24 年度
１次評価日（課長等）	25 年 10 月 17 日
２次評価日（部長等）	25 年 10 月 17 日

１ 施策の概要

施策名	スポーツの振興				コード	11-3
この施策の主な内容（細施策）	①市民ひとり１スポーツの実現、②競技力の向上、③スポーツによるまちづくり、④スポーツ環境の整備・充実					
第４次総合計画におけるこの施策の目的	生涯にわたりスポーツに親しみ、明るく豊かで健康的な生活が送ることができるよう、「市民ひとり1スポーツ」の実現のため、市民スポーツの一層の推進を図る。					
担当部課	部	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	高橋　　章

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

	施策指標名	単位	22年度 実績値	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	24年度 達成率	25年度 目標値	26年度 目標値
①	スポーツ施設利用者数	人	237,554	274,801	186,400	294,382	157.9%	188,000	296,600
	指標説明	スポーツ施設（総合体育館、庭球場、屋内プール、スケート場）の利用者を増やす。							
②	週1回以上運動・スポーツをする成人の割合	%	46	50	48	47	97.9%	50	50
	指標説明	スポーツをする人を増やし、市民ひとり１スポーツを実現する。（健康増進に関するアンケートより）							
③	国民体育大会出場者数	人	44	40	27	20	74.1%	30	20
	指標説明	全国的な舞台で活躍できる競技者を増やす。							

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	22年度	23年度	24年度	25年度（見込み）
直接事業費	193,682	348,831	222,427	202,311
人件費	39,200	32,000	32,000	32,000
合計コスト	232,882	380,831	254,427	234,311

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊24年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

スポーツ振興については、健康の維持増進、体力向上を図るため、体育協会との連携により各種大会、スポーツ教室を開催し、多くの市民が参加した。
また、スケートのまちづくり、バレーのまちづくりでは、育成事業による成果が見られる。
施設管理では、屋内プールの暖房設備の更新により、環境が改善された。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	・スポーツ施設が充実している。・（財）岡谷市体育協会が実行組織として機能したいる。
岡谷市の弱み	・スポーツ施設の維持費の増大

５ 今後の外部環境の変化

＊26年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	・岡谷市体育協会が公益財団になることにより、一般に認識が広がる。
不利に働くもの	・レジャーの多様化によるスポーツ離れ。

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成26年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	・スポーツを継続するきっかけづくりや、競技スポーツの底辺拡大のため、体育協会との一層の連携により、各種大会を実施する。 ・スポーツ推進計画を策定する。 ・幼少期の体力低下の歯止めのための事業に取り組む。
見直しを行う分野	・スポーツ推進委員活動の見直し。 ・事業の実績を勘案し、縮小・廃止を実行する。

●26年度の優先度

＊事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標 指標名	単位	成果指標 22年度 23年度 24年度 25年度	直接事業費 22年度 23年度 24年度 25年度	人件費 22年度 23年度 24年度 25年度	妥当性	方向性	優先度
1		一般	なし	スポーツ振興事業	ファミリースポーツプログラム及び教室参加者数	人	6,300 6,953 6,332 6,953	4,614 6,062 10,072 9,424	23,600 18,800 18,800 18,800	高い	継続して実施	A：拡大
2												
3		一般	なし	スポーツ推進委員活動支援事業	スポーツ推進委員活動延べ人数	人	390 403 435 415	1,005 966 971 947	4,000 4,000 4,000 4,000	高い	継続して実施	B：現状維持
4		補助金	なし	諏訪地方スポーツ推進委員連絡協議会負担金	支出件数	件	1 1 1 －	46 46 46 46	－ － － －	高い	継続して実施	C：見直し
5		補助金	なし	諏訪地方スポーツ推進委員スポーツ大会負担金	支出件数	件	1 1 1 －	3 3 3 3	－ － － －	標準	継続して実施	C：見直し
6		補助金	なし	スポーツ振興事業補助金	支出件数	件	1 1 1 －	1,081 1,081 1,081 1,081	－ － － －	標準	継続して実施	A：拡大
7		一般	なし	スケートのまちづくり事業	大会等参加者数	人	6,462 4,903 5,309 6,462	5,131 4,560 5,793 5,687	3,600 3,600 3,600 3,600	高い	継続して実施	B：現状維持
8		補助金	なし	バレーボールのまちづくり事業負担金	支出件数	件	1 1 1 －	1,000 1,000 500 500	－ － － －	標準	継続して実施	B：現状維持
9		公共施設	なし	陸上競技場管理事業	施設稼働率	%	2 1 1 －	212 502 8,071 122	800 800 800 800	標準	継続して実施	B：現状維持
10		公共施設	なし	やまびこ国際スケートセンター管理事業	施設稼働率	%	100 100 100 －	75,091 73,930 79,113 79,130	800 800 640 640	高い	継続して実施	B：現状維持

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成26年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	・スポーツを継続するきっかけづくりや、競技スポーツの底辺拡大のため、体育協会との一層の連携により、各種大会を実施する。 ・スポーツ推進計画を策定する。 ・幼少期の体力低下の歯止めのための事業に取り組む。
見直しを行う分野	・スポーツ推進委員活動の見直し。 ・事業の実績を勘案し、縮小・廃止を実行する。

●26年度の優先度

＊事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	22年度 23年度 24年度 25年度	22年度 23年度 24年度 25年度	22年度 23年度 24年度 25年度			
11		公共施設	なし	学校体育施設開放管理事業	施設稼働率	%	74 66 73 －	786 802 834 895	2,400 2,400 2,400 2,400	高い	継続して実施	B：現状維持
12		公共施設	なし	市民総合体育館管理事業	施設稼働率	%	62 62 78 －	55,767 212,141 53,327 53,175	800 320 320 320	標準	継続して実施	B：現状維持
13		公共施設	なし	市営岡谷球場管理事業	施設稼働率	%	29 28 26 －	4,720 4,920 5,191 5,348	800 160 160 160	標準	継続して実施	B：現状維持
14		公共施設	なし	市民スポーツ広場管理事業	施設稼働率	%	39 71 73 －	1,779 1,779 2,387 2,272	800 160 160 160	標準	継続して実施	B：現状維持
15		公共施設	なし	市営庭球場管理事業	施設稼働率	%	74 92 105 －	4,445 4,445 5,761 6,112	800 160 160 160	標準	継続して実施	B：現状維持
16		公共施設	なし	市民水泳プール管理事業	施設稼働率	%	100 100 100 －	38,002 36,594 48,779 37,569	800 800 800 800	標準	継続して実施	B：現状維持
17		内部	なし	アイスアリーナ維持事業	－	－	－ － － －	－ － 498 0	－ － 160 160	－	継続して実施	B：現状維持
18												
19												
20												